

実績報告書

補助事業者	工藤 圭一氏（認定農業者）
事業の名称	半密植方式による「黄色ふじ」への改植事業
補助事業の期間	平成２８年８月～平成２９年３月
総事業費(税込)	７４２，８３０円
補助金額	３５１，０００円
補助対象経費	苗木、改植経費一式
事業の概要	<p>現在りんごの植栽方式は、用いられる台木や植栽間隔によってわい化栽培と丸葉栽培に大別されている。丸葉栽培の場合、植栽間隔が広いことから初期収量がわい化栽培より劣る。一方わい化栽培は、支柱やトレリスなどの資材費が高いことや、既存園地を改植する場合、忌地による生育不良を起こしやすい。そこで、お互いの利点と欠点を改善する目的で、半密植様式の植栽方法について検証を行う。</p>
補助事業遂行による成果	<p>用いる台木は丸葉台木に、中間台木としてわい性台木のＪＭ７を使用し、丸葉栽培とわい化栽培の双方の利点を取り入れた。現時点では果実生産には至っていないが、植え付けの際、従来のわい化栽培に比べて簡単な支柱となり、トレリスなどの資材が不要なことから、業者委託することなく農家個人でも作業可能で経費削減につながった。また、従来の丸葉栽培に比べて面積あたりの栽植本数が多いことから、初期収量も多くなることが期待される。更に、使用した台木の特性上、樹をコンパクトに作ることが可能と思われることから、年間を通じた作業の省力化が期待できる。</p> <p>本事業について、本年度は効果検証を行うための必要経費を明確にし、今後は初期収量や作業効率について明確にしていく。</p> <p>（作業状況については次頁）</p>

実績報告書

《別紙：作業状況》



既存わい化園の伐採



業者によるわい化トレリス解体作業



伐採樹の後片付け作業



苗木は冷蔵庫で一時保管



改植後の様子



同左